

3 結果の概要

農業をめぐる情勢をみると、食料消費が量的にほぼ飽和状態にあるなかで、耕作放棄地の増加などによる耕作面積の減少、農業労働力の高齢化・減少など農業構造の脆弱化が進行しており、国内生産力が低下する一方、農産物輸入が増加傾向を示すなど、我が国の農業をとりまく情勢は厳しさを一層増している。加えて農村では、中山間地域を中心として引き続き過疎化の進行がみられ、地域社会の活力の低下による耕作放棄地の増加や国土・環境保全機能の低下等が懸念されている。

このような状況で実施された今回の調査によると、以下のような状況にある。

1 農家数

本市総農家数は（表 - 1）総世帯数（平成12年2月1日現在の住民基本台帳登録世帯数）202,347世帯の3.9%にあたる7,897世帯で前回調査に比べ673世帯（7.9%）減少した。旧市町村別に減少率で平成7年と比較してみると（表 - 2）、可美村がトップで20.1%（28戸）、南庄内村の17.3%（28戸）、和田村の16.2%（27戸）の減少となった。以下10%以上の減少を示したのは村櫛村の15.7%（16戸）、吉野村14.1%（14戸）、篠原村の12.0%（61戸）、飯田村の11.7%（29戸）、河輪村の10.9%（20戸）、長上村の10.6%（46戸）、積志村の10.2%（62戸）である。

表 - 1 総農家数の推移

（単位：戸・%）

区分	総農家数 (戸)	対前回比較	
		増減(戸)	増減率(%)
昭和50年	13,440	1,492	10.0
55	12,557	883	6.6
60	11,634	923	7.4
平成2	9,227	2,407	20.7
7	8,570	657	7.1
12	7,897	673	7.9

昭和45～60年の農家数は旧定義による。
旧可美村を含む。

表 - 2 旧市町村別にみた農家数の推移

区分	平成 2年	平成 7年	平成 12年	(12年) - (7年)	
				増減	増減率
総数	9,227	8,570	7,897	673	7.9
旧浜松市	1,021	882	801	81	9.2
芳川村	325	308	286	22	7.1
飯田村	253	248	219	29	11.7
和田村	183	167	140	27	16.2
長上村	478	435	389	46	10.6
積志村	664	608	546	62	10.2
笠井村	109	96	89	7	7.3
豊西村	280	246	222	24	9.8
中ノ町村	210	199	195	4	2.0
三方原村	678	643	598	45	7.0
神久呂村	468	448	428	20	4.5
入野村	255	228	222	6	2.6
吉野村	127	99	85	14	14.1
都田村	701	670	660	10	1.5
河輪村	189	183	163	20	10.9
五島村	298	292	283	9	3.1
新津村	471	444	415	29	6.5
和地村	416	412	372	40	9.7
伊佐見村	629	612	592	20	3.3
篠原村	542	507	446	61	12.0
北庄内村	453	440	415	25	5.7
南庄内村	171	162	134	28	17.3
村櫛村	141	102	86	16	15.7
可美村	165	139	111	28	20.1

区分欄は昭和25年2月1日現在の行政区区域

次に、専業・兼業別農家数の構成比を平成7年と比べてみると（表-3，図-1），専業農家は16.1%から14.4%とやや減少傾向にあり，第1種兼業農家は，21.1%から15.2%と減少している，反面第2種兼業農家は62.8%から70.4%と増加している。

また，総農家数のうち，農産物販売金額のあった農家数（表-4）は4,937戸（構成比62.5%）で平成7年の5,690戸（同66.4%）と比べ，総農家数に占める割合はやや減少している。この農産物販売金額のあった農家について販売金額1位の部門別農家数をみると（表-4）露地野菜1位農家が断然多く販売農家の29.2%を占め，以下花き・花木の19.3%，施設園芸の14.1%となっている。

表-3 専・兼業別農家数の推移

（単位：戸・%）

区分	総農家数	専業農家数	第1種兼業農家	第2種兼業農家
平成2年	9,227	1,480	1,755	5,992
構成比	(100.0)	(16.0)	(19.0)	(64.9)
平成7年	8,570	1,382	1,809	5,379
構成比	(100.0)	(16.1)	(21.1)	(62.8)
平成12年	7,897	1,134	1,203	5,560
構成比	(100.0)	(14.4)	(15.2)	(70.4)

図-1 専・兼業別農家構成比

	専業	第1種兼業	第2種兼業
平成2年	16.0%	19.0%	64.9%
平成7年	16.1%	21.1%	62.8%
平成12年	14.4%	15.2%	70.4%

表-4 農産物販売金額1位の部門別農家数（上位5位まで）

（単位：戸）

	平成2年	平成7年	平成12年
総農家数	9,227	8,570	7,897
販売収入のある農家数	6,159 (100.0)	5,690 (100.0)	4,937 (100.0)
露地野菜	2,008 (32.6)	1,730 (30.4)	1,444 (29.2)
施設園芸	1,405 (22.8)	花き・花木 1,097 (19.3)	花き・花木 954 (19.3)
稲作	838 (13.6)	稲作 749 (13.2)	施設園芸 694 (14.1)
果樹類	523 (8.5)	施設園芸 717 (12.6)	稲作 664 (13.5)
その他の作物	491 (8.0)	果樹類 627 (11.0)	果樹類 568 (11.5)

経営耕作規模別の農家数の構成比をみると、(表 - 5) 前回調査と比べ各層とも大きな変動はない。また、経営耕作規模が1.5ha以下の農家数は全体の95.9%、1.0ha以下の農家数は87.0%、0.5ha以下の農家数は58.8%と経営規模が小さい。

表 - 5 経営耕地規模別農家数の推移

(単位：戸・%)

区分	総農家数	例外 規定	0.1ha ~0.3	0.3ha ~0.5	0.5ha ~1.0	1.0ha ~1.5	1.5ha ~2.0	2.0ha ~2.5	2.5ha ~3.0	3.0ha ~5.0	5.0ha 以上
平成2年	9,227	42	3,053	2,233	2,728	842	198	65	23	30	13
構成比	(100.0)	(0.5)	(33.1)	(24.2)	(29.6)	(9.1)	(2.1)	(0.7)	(0.2)	(0.3)	(0.1)
平成7年	8,570	37	2,914	1,990	2,483	823	181	72	29	26	15
構成比	(100.0)	(0.4)	(34.0)	(23.2)	(29.0)	(9.6)	(2.1)	(0.8)	(0.3)	(0.3)	(0.2)
平成12年	7,897	32	2,925	1,689	2,221	705	151	89	31	33	21
構成比	(100.0)	(0.4)	(37.0)	(21.4)	(28.1)	(8.9)	(1.9)	(1.1)	(0.4)	(0.4)	(0.3)

2 農家人口と世帯員の就業構造

本市の農家総人口は36,971人で平成7年以降の5年間に3,296人(8.2%)減少した。平成2年から平成7年の減少4,790人(10.6%)に比べ減少率は縮小したが、依然減少傾向にある。

年齢階層別構成では(表 - 6)、14歳以下は平成2年の18.4%、平成7年の14.5%、今回の12.5%と減少傾向にある。また、60歳以上は同じく28.4%、33.1%、35.2%と増加している。

次に、販売農家世帯員のうち15歳以上の世帯員数は22,072人の就業状態をみると(表 - 7、表 - 8)就業員数は18,919人(85.7%)、非就業世帯員数は3,153人(14.3%)で、就業世帯員のうち年間多少とも自家農業に従事した世帯員数は16,343人(74.0%)で、このうち自家農業だけに従事した世帯員数は平成7年の14,553人から今回は10,692人と3,861人(26.5%)減少した。また、主に自家農家に従事した世帯員数は、平成7年の884人から今回576人と308人(34.8%)減少した。さらに、自家農業に従事したが、兼業従事を主とした世帯員数は平成7年の8,073人から今回は5,075人と2,998人(37.1%)減少し、自家農業に全く従事しない世帯員は増加している。

表 - 6 年齢階層別農家人口の推移

区分	総数	14歳以下	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60歳以上
平成2年	45,057	8,310	2,040	4,669	6,002	5,192	6,043	12,801
構成比	(100.0)	(18.4)	(4.5)	(10.4)	(13.3)	(11.5)	(13.4)	(28.4)
平成7年	40,267	5,828	2,046	4,013	4,683	5,701	4,665	13,331
構成比	(100.0)	(14.5)	(5.1)	(10.0)	(11.6)	(14.2)	(11.6)	(33.1)
平成12年	36,971	4,606	2,398	3,944	3,377	5,171	4,454	13,021
構成比	(100.0)	(12.5)	(6.5)	(10.7)	(9.1)	(14.0)	(12.0)	(35.2)
(12年)-(7年)	3,296	1,222	352	69	1,306	530	211	310
増加率	8.2%	21.0%	17.2%	1.7%	38.7%	10.2%	4.7%	2.4%

表 - 7 旧市町村別15歳以上の世帯員のうち就業状態が「農業だけ」と「農業が主」の世帯員数

区 分	平 成 2 年			平 成 7 年			平 成 12 年		
	15歳以上 の 世帯員数	農業だけ と 農業が主	比 率	15歳以上 の 世帯員数	農業だけ と 農業が主	比 率	15歳以上 の 世帯員数	農業だけ と 農業が主	比 率
総 数	36,747	17,345	47.2	34,949	15,437	44.2	22,072	11,268	51.1
旧浜松市	4,091	1,830	44.7	3,649	1,456	39.9	1,890	891	47.1
芳川村	1,243	570	45.9	1,234	499	40.4	689	321	46.6
飯田村	982	431	43.9	957	377	39.4	471	243	51.6
和田村	706	261	37.0	643	233	36.2	153	62	40.5
長上村	1,875	647	34.5	1,750	612	35.0	832	347	41.7
積志村	2,625	949	36.2	2,481	864	34.8	1,098	468	42.6
笠井村	455	151	33.2	437	141	32.3	242	92	38.0
豊西村	1,130	486	43.0	1,012	455	45.0	664	368	55.4
中ノ町村	819	316	38.6	785	293	37.3	405	180	44.4
三方原村	2,638	1,445	54.8	2,609	1,245	47.7	1,957	1,021	52.2
神久呂村	1,883	986	52.4	1,838	938	51.0	1,401	772	55.1
入野村	997	467	46.8	916	396	43.2	439	232	52.8
吉野村	452	210	46.5	375	172	45.9	237	134	56.5
都田村	2,836	1,441	50.8	2,748	1,329	48.4	2,150	1,164	54.1
河輪村	751	330	43.9	763	296	38.8	409	184	45.0
五島村	1,203	616	51.2	1,185	559	47.2	977	519	53.1
新津村	1,852	910	49.1	1,778	797	44.8	1,243	601	48.4
和地村	1,713	956	55.8	1,712	882	51.5	1,251	699	55.9
伊佐見村	2,611	1,422	54.5	2,606	1,275	48.9	1,963	1,044	53.2
篠原村	2,151	1,035	48.1	2,005	957	47.7	1,381	684	49.5
北庄内村	1,856	1,055	56.8	1,834	995	54.3	1,490	861	57.8
南庄内村	674	324	48.1	670	279	41.6	337	182	54.0
村櫛村	545	238	43.7	398	178	44.7	219	116	53.0
可美村	659	269	40.8	564	209	37.1	174	83	47.7

表 - 8 就業状態別世帯数・構成比の推移

区 分	15歳以上の 世帯員数	農業だけ	農業が主	兼業が主	兼業だけ	仕事をしない
平成2年	36,747	16,518	827	9,032	4,834	5,536
構成比	(100.0)	(45.8)	(2.3)	(24.6)	(13.2)	(15.1)
平成7年	34,949	14,553	884	8,073	5,167	6,272
構成比	(100.0)	(41.6)	(2.5)	(23.1)	(14.8)	(17.9)
平成12年	22,072	10,692	576	5,075	2,576	3,153
構成比	(100.0)	(48.4)	(2.6)	(23.0)	(11.7)	(14.3)
(12年)-(7年)	12,877	3,861	308	2,998	2,591	3,119
増加率	36.8%	26.5%	34.8%	37.1%	50.1%	49.7%

3 経営耕地

本市の総経営耕地面積は、平成2年から平成7年の5年間で8,702a（1.7%）減、平成7年から平成12年で104,119a（21.0%）減と減少を続けている。

これを耕地の種類別にみると、畑が全経営耕地の52.7%（205,062a）を占め、平成7年より13.8%（32,918a）減少し、田が29.0%（113,802a）で同じく25.3%（38,486a）減少している。この田のうち、1年間作付けしなかった田は、平成2年が6,076a、平成7年が9,791a、今回は6,603aとなっている。また、樹園地は平成7年に比べ30.9%（32,715a）減少し73,271である。

旧市町村別に経営耕地の増減率をみると（表-10）、トップは、和田村の54.7%減、次いで可美村の53.3%減、村櫛村の44.8%減、南庄内村の39.4%減、入野村の39.2%減、中ノ町村の32.7%減、長上村の30.8%減と続いている。

表-9 経営耕地種類別面積の推移

区 分		(単位：アール・%)							
		平成2年		平成7年		平成12年		(12年) - (7年)	
		面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比	面積	構成比
総面積		504,956	100.0	496,254	100.0	392,135	100.0	104,119	21.0
田	計	164,999	32.7	152,288	30.7	113,802	29.0	38,486	25.3
	一毛田	150,528	29.8	130,060	27.4	103,624	26.4	32,436	23.8
	二毛田	377	0.0	237	0.0	331	0.1	94	39.7
	稲作以外の田	8,018	1.6	6,200	1.2	3,244	0.8	2,956	47.7
	1年間作付けなし	6,076	1.2	9,791	2.0	6,603	1.7	3,188	32.6
樹園地	計	91,692	18.2	105,986	21.4	73,271	18.7	32,715	30.9
	果樹園	60,773	12.0	X	X	X	X	X	X
	茶園	27,621	5.5	X	X	X	X	X	X
	桑園	45	0.0	X	X	X	X	X	X
	その他	3,253	0.6	X	X	X	X	X	X
畑		248,265	49.2	237,980	48.0	205,062	52.3	32,918	13.8

表-10 旧市町村別経営耕地面積の推移

区 分	平成2年	平成7年	平成12年	(単位：アール・%)	
				(12年) - (7年)	
				増 減	増 減 率
総数	506,409	478,009	392,135	85,874	18.0
旧浜松市	44,514	39,366	29,286	10,080	25.6
芳川村	13,201	13,143	9,514	3,629	27.6
飯田村	8,836	8,698	6,541	2,157	24.8
和田村	5,174	4,896	2,218	2,678	54.7
長上村	18,841	17,184	11,891	5,293	30.8
積志村	27,503	26,124	20,050	6,074	23.3
笠井村	5,006	4,276	3,702	574	13.4
豊西村	16,856	15,217	12,756	2,461	16.2
中ノ町村	8,831	8,446	5,686	2,760	32.7
三方原村	52,062	49,618	44,900	4,718	9.5
神久呂村	33,063	30,957	27,803	3,154	10.2
入野村	11,574	11,666	7,094	4,572	39.2
吉野村	9,180	9,788	9,755	33	0.3
都田村	61,442	56,515	51,004	5,511	9.8
河輪村	7,974	7,722	6,210	1,512	19.6
五島村	18,854	18,596	18,593	3	0.0
新津村	25,493	24,009	20,004	4,005	16.7
和地村	29,306	28,970	23,487	5,483	18.9
伊佐見村	39,235	37,396	32,313	5,083	13.6
篠原村	20,953	19,124	14,823	4,301	22.5
北庄内村	31,061	30,808	25,974	4,834	15.7
南庄内村	6,486	6,260	3,795	2,465	39.4
村櫛村	5,954	5,022	2,770	2,252	44.8
可美村	5,010	4,208	1,966	2,242	53.3